

2022年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2021年11月10日
福山通運株式会社
(9075)

1. 連結業績

(単位:百万円/%)

項目	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	138,431	141,999	3,567	102.6
営業費用	128,955	131,041	2,085	101.6
営業利益 (営業利益率)	9,476 (6.8)	10,958 (7.7)	1,481	115.6
経常利益 (経常利益率)	10,042 (7.3)	11,279 (7.9)	1,236	112.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,663	7,569	906	113.6

売上高：単価は前年並み、輸送量が増加
営業費用：人件費、燃料費、減価償却費が増加
営業利益：売上高の増加と外注費の抑制により増加

2. 営業費用

(単位:百万円/%)

項目	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
人件費	61,811	63,380	1,569	102.5
物件費	44,775	44,102	△673	98.5
諸費	14,806	15,309	502	103.4
減価償却費	7,560	8,249	688	109.1
営業費用	128,955	131,041	2,085	101.6

人件費：業務員を中心とした採用により増加

物件費：価格の高騰により燃料費は増加したものの、自社化の取り組みにより幹線・集配備車費が減少

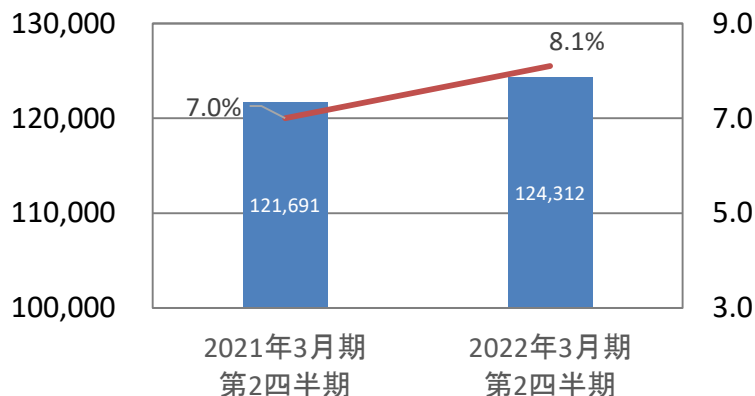
諸費：海上運賃の高騰により国際関係費用が増加

減価償却費：車両の更新により車両の償却費が増加

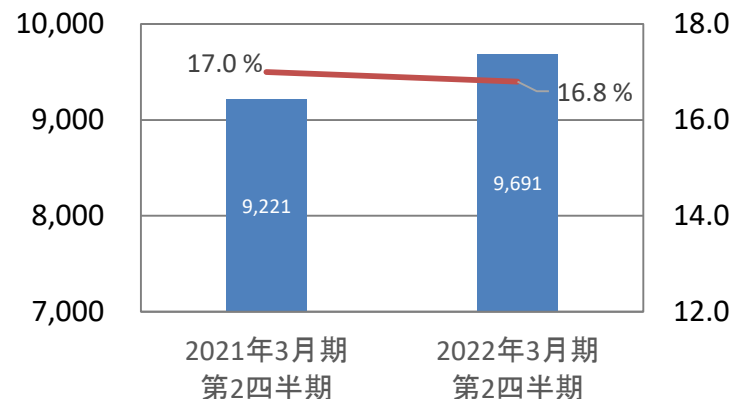
3. 事業別売上高と利益率

(単位:百万円/%)

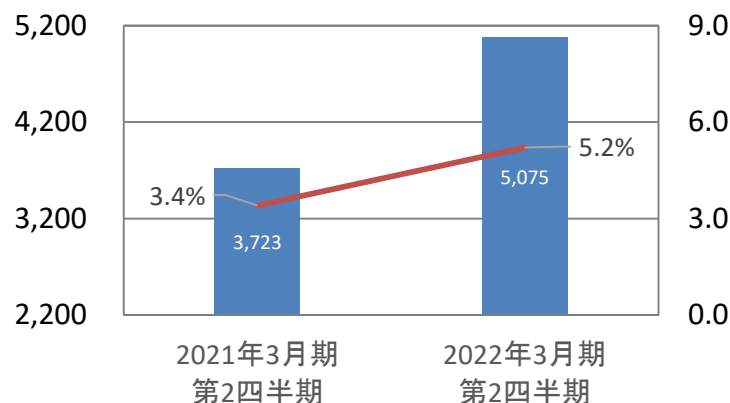
運送事業(ネットワーク・チャーター・引越など
当社グループの中核事業)



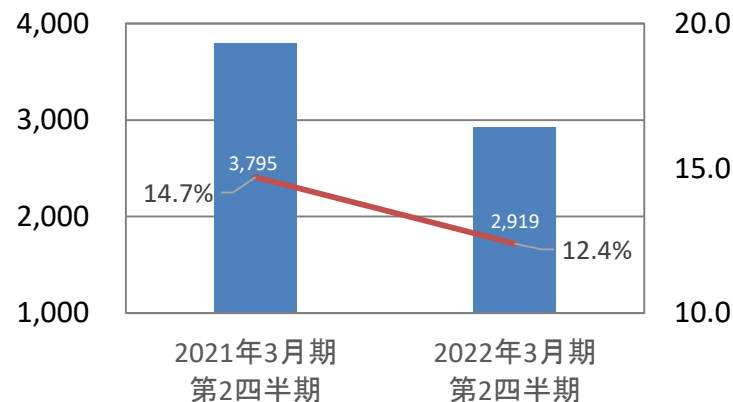
流通加工事業(貨物保管・物流加工)



国際事業(国際運送・国際利用運送
(フォワーディング)・通関)



その他事業(不動産賃貸・商品販売・コンビニ・
ボウリングなど)



■ 売上高 — 利益率

4. 荷物取扱傾向

輸送4要素

* 当社の荷物分類定義

小口貨物: 1件1個30kg以下

商業貨物: 1件6個121kg以上

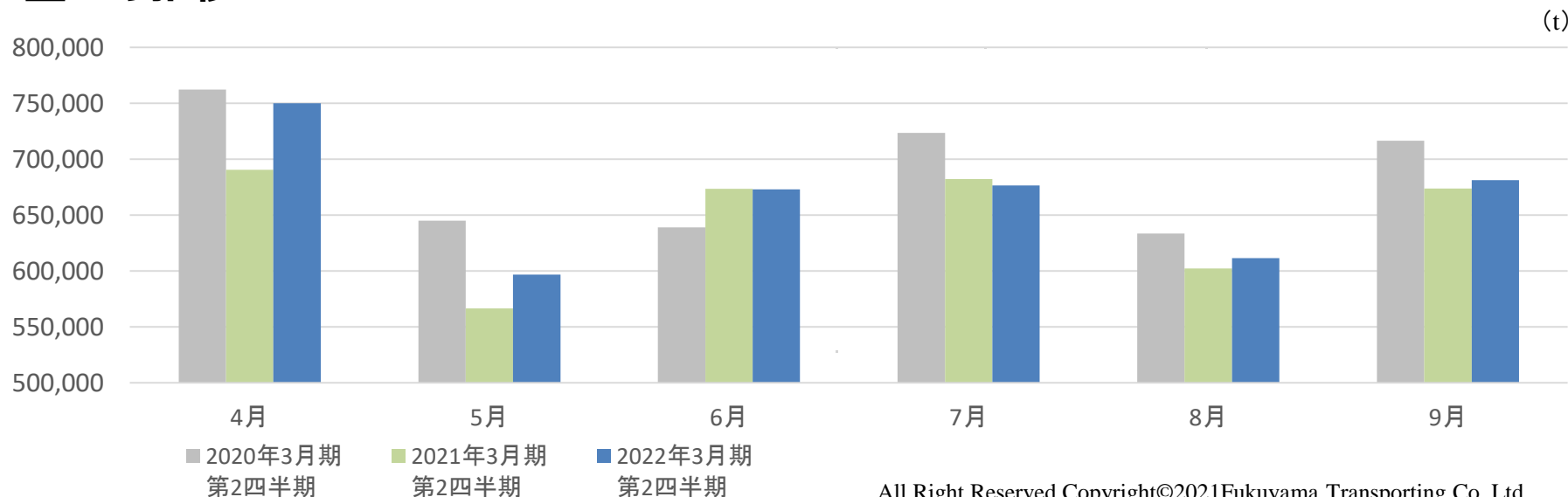
商業小口: 1件5個120kg以下

重厚長大: 1個100kg以上または1件500kg以上

(前年同期比/単位: %)

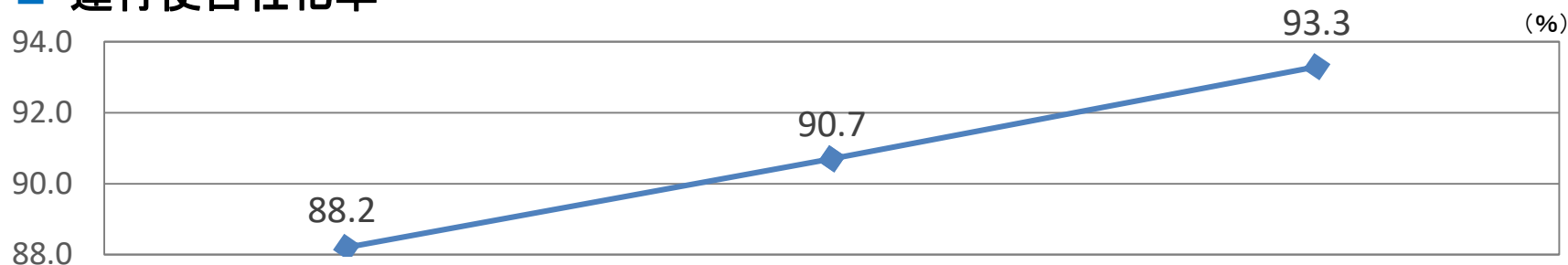
	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価	輸送量
小口貨物	98.9	100.0	99.3	104.5
商業小口	101.3	101.6	100.4	101.1
商業貨物	100.8	98.3	100.5	101.9
重厚長大	100.5	103.2	100.1	103.4
全 体	100.6	100.3	100.2	102.7

重量の推移

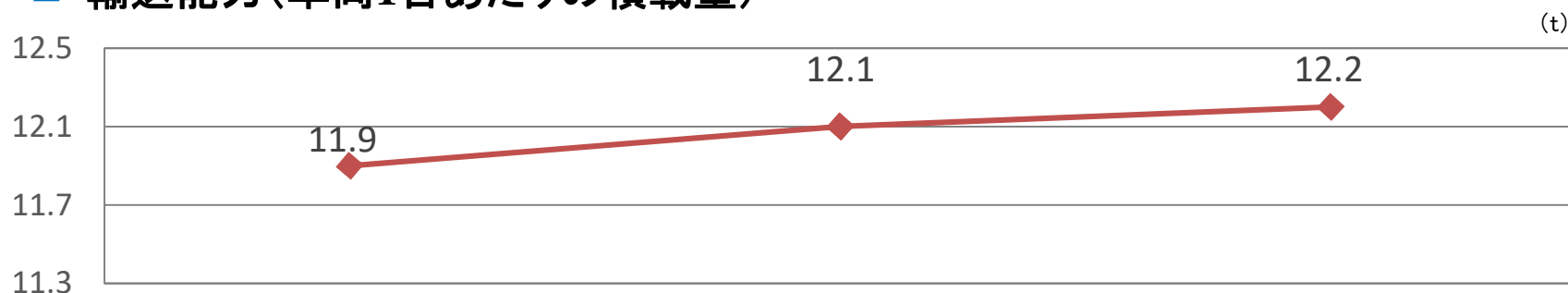


5. 運行便指標の推移

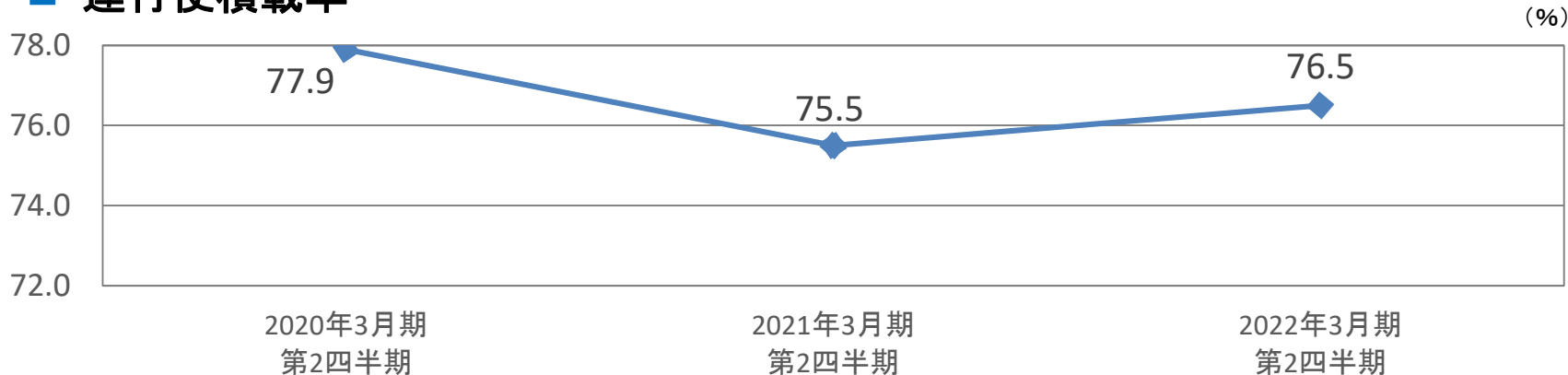
■ 運行便自社化率



■ 輸送能力(車両1台あたりの積載量)



■ 運行便積載率



6. 働き方改革(生産性向上に向けた取り組み)



雇用維持と生産性の向上

■ 適正人員配置・業務員採用強化

- ・外注費(人材派遣・備車)抑制 ⇒ 自社社員の生産性向上、労働環境の整備
- ・不足人員の自社雇用 ⇒ 運転者リファラル採用(従業員紹介)の推進(2021年上半期累計 85名入社)
主要店所への集中採用

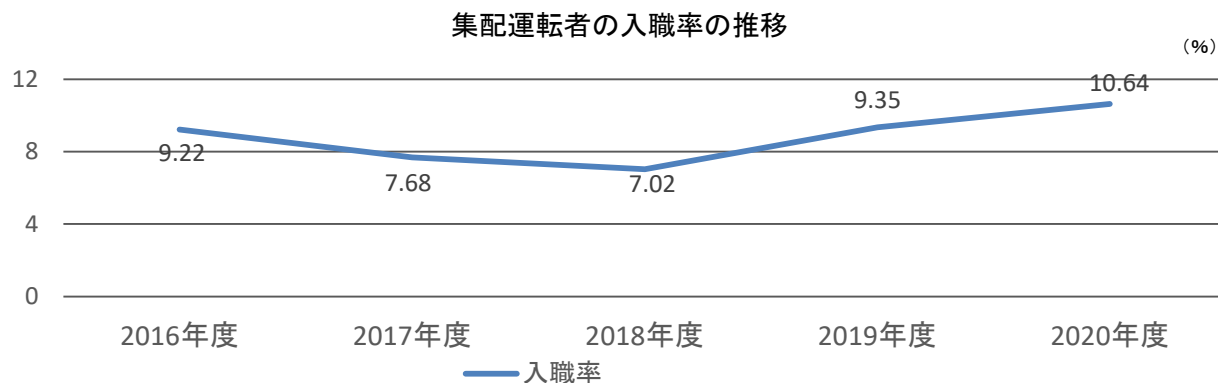
<参考> 人員統計 2021年9月末 業務員：前期比 +572名(社員・パート計)

集配者：前期比 +64名(2019年9月比+479名)

- ・運転免許取得援助制度による大型・けん引免許等の取得支援 ⇒ 業務効率化、生産性向上、キャリアアップ
支援取得者：214名(2021年9月末時点) 免許保有者：1,578名(2021年9月末時点)

【2021年度の取り組み】

- ・定期昇給維持
- ・新型コロナウイルスワクチン職域接種の実施
福山本社、東京主管支店において、2,000人を対象に職域接種を実施
また、職域接種以外にも地域の自治体等と連携して接種を進める



7. 2022年3月期 連結業績予想

(単位:百万円/%)

項目	2021年 3月期実績	2022年 3月期予想	前期比
売上高	285,518	289,500	101.4
営業利益率 (営業利益率)	21,145 (7.4)	21,300 (7.4)	100.7
経常利益率 (経常利益率)	22,466 (7.9)	21,900 (7.6)	97.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,320	15,600	101.8

2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、連結業績予想は当該基準適用後の金額となっております。
 なお、2021年3月期に当該基準を適用したと仮定した場合の売上高は283,992百万円(前期比101.9%)となりますが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。